

---

# 公園にて

千葉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
公園にて

【コード】  
N2602Q

【作者名】  
千葉

【あらすじ】  
過去は振り返るためにある

薄汚れた公園のベンチに座って温いコーヒーを飲みながら、僕はあいつのことを思い出していた。

あいつはいつもどこか不安定で、僕はあいつのそういうところを気にし過ぎて、いつも一人で勝手に疲れていたような記憶がある。しかし今となっては、それすらも僕の独りよがりだったのではないかと思うのだ。

あいつが悲しいと言ったそれが、僕の思っていた悲しいとは違ったとき、あの時からたくさんの時が経ってしまったことを実感した。

たくさん一緒に居たようで、時間をかけたわりにはそれほどたくさんものを分かっていなかった。そんなところではないだろうか。それこそが、悲しいことであるような、ないような。

ふと足元をくすぐる感覚に視線を落とせば、鳩が数羽群がっていた。くすんだ灰色をした、どこにでも居るような鳩。その中に一羽だけ真白な羽を持った鳩が居る。

そいつは他から外れることもなく、一羽だけ明らかに異質でありながらも、他の灰色たちと同じようにそこで群れていた。

例えるなら、自分は灰色の鳩で、あいつはあの一羽だけの真白な鳩、といったところだろうか。

どこがどうかは知らないけど、あいつは少し周りと違った。

あの鳩のように、その他大勢の中に紛れつつも、少しだけ突出する部分があったのだ。

自分だけが優れた思考をできる生物だとみんながみんな思い込んでしまうから、世界は上手く回らないのだろうと思う。

人間は自分が他人より劣っていることを、能力ではなく運によるものだと思いたがるのは、誰の言葉だったろうか。全く真理を突いていると思う。

もちろん、僕だってその思い込みをしている生物の例外ではない。と悟ってみたところでどうにもならないか。

それも、悲しいことであるような。

せつかくこの公園にあるいくつかのベンチの中から、僕のもとにわざわざ寄ってきてくれたのだから、寄ってきた鳩たちに何か餌でもあげたいと思ったのだが生憎何も持っていなかった。

手には、中途半端に冷めてしまった飲みかけのコーヒーだけ。

鳩はコーヒーを飲むだろうか。

例え飲むのだとしても、いきなり地面にコーヒーを撒くわけにもいかない。

そこまで思考したところで、またあいつのことが浮かんだ。そういえば、あいつはコーヒーが好きだった。

疲れた顔をして帰った僕に熱いコーヒーを差し出して、ただにっこりと微笑んでくれたものだった。

そんなただの日常が僕はたまらなく好きだったのだ。

「少し待っててね。今何か買ってくるから。」

僕は冷めたコーヒーを飲み干してベンチから立ち上がり、鳩たちに告げた。

確か近くにコンビニがあったはず。そこで何か買って来よう。豆とか、煎餅とか、そういう類のものを。

戻ってくるまで彼らがここに居るのは、確かなことではないけれど

ど。

ここの鳩もそうだし、あいつもそうなのだ。また会えるのかは知らないし、判らない。

会えずとも日々は進むし、再会出来た時には、また違う日々が始まる。

きっと僕とあいつが再び出会うことは無いだろうけれど、過去のお互いの存在が現在のお互いの存在に影響を与え続けていくのだ。それはとても不思議な心地がした。

公園の出口で、ベンチの方を一度振り返った。鳩たちはまだそこに居た。

灰色のも、白色のも。

鳩に餌をやったら、そろそろ家に帰ろう。

そうして、熱いコーヒーでも飲もう。

僕の過去を眩しくする、あいつのことを思い出しながら。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2602q/>

---

公園にて

2011年1月26日10時16分発行